

1. 研修講師の氏名、専門分野、保有資格、講師経験の有無

氏名：澤田 雅之

専門分野：情報通信技術、顔画像識別技術、プロジェクトマネジメント、発注者エンジニアリング

保有資格：技術士(電気電子部門)

講師経験：官公庁や大手企業等において、「技術プロジェクトのマネジメント」や「発注者のエンジニアリング」等に関する多数の講師経験を有する。

2. 研修テーマ

技術プロジェクトのマネジメント ～ 部分最適化から全体最適化へ ～ 新国立競技場建設の白紙撤回とその後に学ぶ

3. 研修の概要

国際デザインコンクールで選定した斬新なデザインの新国立競技場を建設するプロジェクトは、2年間の紆余曲折の後、平成27年7月に計画全体が白紙撤回され破綻しました。原因は、スペックと工事費と工期（互いにトレードオフの関係にあります）について、全体最適化に失敗したことです。トップダウンのリーダーシップが不在であれば、プロジェクトは、部分最適化の積み上げに陥らざるを得なくなります。そこで、破綻した新国立競技場建設プロジェクトを反面教師として、技術プロジェクトを成功に導く全体最適化の実現方法を中心に、プロジェクトマネジメントの在るべき姿を具体的に解説致します。次に、官公庁が工事請負や製造請負の発注により実現を目指す技術プロジェクトについて、発注の目的を見据えたトップダウンにより全体最適化を図ることの重要性や、全体最適化を実現する発注方法について、具体的に解説致します。

4. 研修対象とする職員

技術プロジェクトメンバーとなる技術系職員及び事務系職員

技術プロジェクトのマネジメントを担う技術系幹部職員及び事務系幹部職員

5. 研修受講により期待される効果

官公庁が工事請負や製造請負の発注により実現を目指す技術プロジェクトについて、破綻させないための最も重要な鍵は、部分最適化を追求するマネジメントではなく、全体最適化を追求するマネジメントにあることが具体的に理解できます。

また、全体最適化に向けて技術プロジェクトを運営する方法や、全体最適化に基づく発注を実現する方法について、具体的に修得できます。